

# 同志社大学フォーミュラプロジェクト

## 6・7・8 月活動報告

支援者様

残夏の候、貴社ますますご盛栄の事とお喜び申し上げます。平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFPP）の 6 月、7 月、8 月の活動報告について報告させていただきます。

現在、当プロジェクトは 6 月に静的審査書類を提出し、7 月から大会直前の 8 月末まで車両の信頼性の向上と車両開発を行っております。そして、多大なるご支援をしていただいております先生方、OB の皆様方、企業の方々に深く感謝いたします。今後とも宜しく願い申し上げます。



図 1 チーム集合写真

## 1.活動報告

### 静的審査書類提出

6月1日に安全構造同等性フォームとインパクトアッテネータデータを提出し、6月13日はデザインレポート及びデザインスペックシートを、6月22日にコストレポートを提出いたしました。今年度は4月に車両をシェイクダウンさせることができ、当チームの弱点であった静的審査に早期から着手することができ、作り込むことができました。また、静的審査書類作成には多数のOBの方々に御協力をさせていただきました。また、これらの書類で本大会の出場の可否が決定されます。

### 6月月例会

6月23日に6月月例会を行いました。6月月例会の目的は車両育成の現状報告と今後の予定について話し合いました。



図2 コストレポート担当のメンバー



図3 6月月例会の様子

### 安全勉強会

7月1日に大阪大学で行われました安全勉強会に参加しました。大阪大学、同志社大学、京都工芸繊維大学の車両を川崎重工業の本田様に車検して頂きました。数ヶ所の御指摘を受け、車両を修正し本大会でのスムーズな車検通過を目指します。

### 関西支部合同走行会

7月14、15日に泉大津フェニックスで行われました関西支部合同走行会に参加しました。一日目は車検、スキッドパッド、アクセラレーションで、二日目はオートクロス、エンデュランスを行い、エンデュランスでは多少トラブルがあったものの22周を走りきる事ができました。本番の動的競技を想定した走行会で車両開発のデータ収集、車両の信頼性の

確認をすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



図 4 車両を整備するメンバー

図 5 車両走行（スキッドパッド）の様子



図 6 車両移動の様子

### オープンキャンパス

7月29日にオープンキャンパスが行われました。オープンキャンパスの一環として当プロジェクトも車両展示をさせていただきました。オープンキャンパスは主に高校三年生を対象に開催されており、毎年オープンキャンパスで当プロジェクトの活動に興味を持ち、この活動に参加するメンバーもいます。

### プロジェクト科目成果報告会

7月29日（オープンキャンパス同日）にプロジェクト科目成果報告会が行われました。プロジェクト科目は学生を主体とした実践型・参加型の授業で単位が認められます。当チームのプロジェクト科目「ものづくり・人づくり」も4月からの活動を紹介を行い、数多くの人にこの活動を知っていただくことができました。



図 7 車両展示の様子



図 8 プロジェクト科目成果報告会のメンバー

### 8 月月例会

8 月 9 日に 8 月月例会を行いました。8 月月例会の目的は現状報告と本大会までの予定について話し合いました。



図 9 8 月月例会の様子

### 泉大津合同走行会

8 月 13 日、20 日、23 日に泉大津合同走行会が行われました。8 月 13、20 日の走行会は当プロジェクトが主催し、8 月 13 日の走行会には同志社大学、大阪市立大学、大阪工業大学、岡山大学、京都工芸繊維大学が参加し、8 月 20 日の走行会には同志社大学、大阪市立大学、京都工芸繊維大学、立命館大学が参加しました。また、8 月 23 日の大阪大学が主催する走行会に当チームも参加させて頂き、大阪大学、京都工芸繊維大学、神戸大学、同志社大学が参加しました。

これらの走行会は本大会のオートクロス、エンデュランスを想定し、車両のサスペンションやエンジン、ブレーキのセッティングを行いつつ、当チームの弱点であるドライバーの育成を行いました。

## 2.スポンサー様からのご支援

### 株式会社和光ケミカル 様

WAKO'S のブランドで販売されている株式会社和光ケミカル様より、エンジンオイルやブレーキフルード、ブレーキ&パーツクリーナーなどのケミカル製品を御支援して頂きました。エンジンやブレーキなど車両を走行させるために不可欠な製品です。御支援ありがとうございました。大切に使用させていただきます。今後とも宜しくお願い致します。



図 10 株式会社和光ケミカル様より御支援して頂いたケミカル製品

### 住友電装株式会社 様

住友電装株式会社様より電線、防水コネクタなどを御提供していただきました。信頼性の高い電装の製作には必要不可欠な部品です。誠にありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。



図 11 住友電装株式会社様より御支援していただいた電線、防水コネクタ

### 株式会社日本ヴァイアグレイド 様

株式会社日本ヴァイアグレイド様より、車両運動シミュレーションソフト VI-CarRealTime を御提供していただきました。今後の車両設計・車両開発に必要なソフトです。御支援ありがとうございました。

#### 有限会社アンダーレ 様

有限会社アンダーレ様よりスパルコのフェイスマスクとソックスを御支援していただきました。ドライバーの安全のために必要不可欠な装備です。誠にありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。



図 12 有限会社アンダーレ様より御支援していただいた  
スパルコのフェイスマスクとソックス

#### 株式会社エクセディ 様

株式会社エクセディ様より活動資金の御支援を頂きました。誠にありがとうございました。今後とも御支援・御協力の程、宜しくお願い致します。

#### 機械系の先生方からの支援金

7月30日、同志社大学理工学部機械系の教員の方々から資金援助をしていただきました。御協力を頂いた先生方は主に製図の講義をされている方々で、我々の活動に多大なる御理解を頂いております。これまでも度々御支援を頂いており、心から感謝申し上げます。また、必勝はちまきも頂きました。この思いを胸にチームの長年の目標である総合一桁を目指して頑張ります。



図 13 同志社大学理工学部機械系の教員の方々に頂いた必勝はちまき

### 3.今後の予定

本大会まであと数日、最後まで全力を尽くしチームの長年の目標である全国総合一桁順位を目指し、頑張ります。

8 月 28 日	静的審査予行練習
8 月 31 日	デザインパネル印刷
9 月 3～7 日	第十回全日本学生フォーミュラ大会

### 4.最後に

2012 プロジェクトメンバーは幾多の困難を乗り越え、チーム初の 3 月車両自立、4 月シェイクダウンを実行し、総走行距離 400km の走行試験と車両開発を行い、本大会を迎えることができました。また、この一年間を通じて、ものづくりの難しさ、楽しさを知り、自分たちが作った車両が初めて走った時の感動を味わうことができました。これらもすべて支援者の皆様の御理解・御支援・御協力があったからだと思います。大会報告で支援者の皆様に良い成績を御報告することができるようチーム一丸となって頑張りますので、御声援の程宜しくお願い致します。

最後になりましたが支援者の皆様は今年度も昨年度同様のご支援、ご協力誠にありがとうございました。今後とも変わらぬ御支援・御協力を宜しくお願いいたします。

同志社大学フォーミュラプロジェクトメンバー一同

\*\*\*\*\*

同志社大学フォーミュラプロジェクト

2012 プロジェクトリーダー

宮田 哲次 (ミヤタ サトシ)

〒610-0321

京都府京田辺市多田羅都谷 1-3

URL:<http://dufp.net/>

mail:[buk4074@mail4.doshisha.ac.jp](mailto:buk4074@mail4.doshisha.ac.jp)

\*\*\*\*\*